

令和 5年 5月 22日



協会けんぽ(全国健康保険協会)とは、主に中小企業の従業員とその家族が加入する健康保険です。平成 20 年に政府管掌健康保険を引き継いで設立されました。全国で約 4,000 万人、うち沖縄支部では約 59 万人が加入しています。

沖縄県と共同で医療費等分析を実施 ～ 健診及びレセプトデータを活用した医療費等分析結果の公表 ～

沖縄県民の健康実態の把握を目的に、沖縄県と共同で健診及びレセプトのデータを活用した医療費等分析を実施しましたので、「働き盛り世代の健康実態」に関する以下の4テーマについて分析結果を公表いたします。

【特定健診受診率に関する集計(2017年度～2020年度)】(資料1-1)

- 健診受診率については、国保・協会けんぽともに受診率の低下を認めた。これは新型コロナウイルスの影響(受診控えや健診機関の一時受付停止など)によるものが大きいと考えられる。
- 年齢階級別の受診率については、国保においては高齢者ほど受診率が高くなる一方で、協会けんぽにおいては高齢者ほど受診率が低くなっている。

【健診有所見率に関する集計(2017年度～2020年度)】(資料1-2)

- BMI、腹囲、収縮期血圧・拡張期血圧、eGFR は年度毎に有所見率が増加しており、健康状態の悪化が懸念される。
- 有所見率を性別で比較すると男性が高い。

【レセプトに関する集計 2019 年度】(資料1-3)

- 高額レセプトの構成比について、件数・点数ともに「新生物(腫瘍)」「循環器系の疾患」で4割以上を占めている。「循環器系の疾患」には、高血圧・狭心症・心筋梗塞・心不全・脳梗塞・脳出血などが含まれており、生活習慣病の重症化による医療費の増加が示唆される。

【健診・レセプトに関する集計 2019 年度】(資料1-4, 5, 6, 7, 8)

- 肥満度(BMI)が高いほど、1人当たりのレセプト件数・点数ともに増加する傾向がみられる。これは肥満者ほど医療にかかる回数と医療費が高い傾向があるといえる。
- 肥満度(BMI)が高いほど、1人当たりのレセプト点数が増加する傾向にあるものの、最もレセプト点数が高いレベルは BMI18.5 以下の低体重となっている。これは疾病の重症化による体重減少の影響が考えられる。

協会けんぽ沖縄支部と市町村国保のデータを合わせることで、県全体の約8割が網羅できるため、本医療費等分析の結果から明らかになった健康課題に対して、引き続き加入者に対する保健事業の実施と共に、関係機関と連携した事業所とのコラボヘルスの取り組みを進めてまいりたいと思います。この機会にぜひ「働き盛り世代の健康実態」に関する情報を各種報道等で取り扱っていただき、広く県民に周知していただきますようお願いいたします。

【添付資料】

- ・沖縄県との医療費等分析の結果について(資料1)

【お問い合わせ先】

〒900-8512 那覇市旭町 114-4 おきでんビル 8 階
全国健康保険協会沖縄支部 担当: 企画総務グループ 新垣、高江洲
TEL:098-951-2011 FAX:098-951-2295